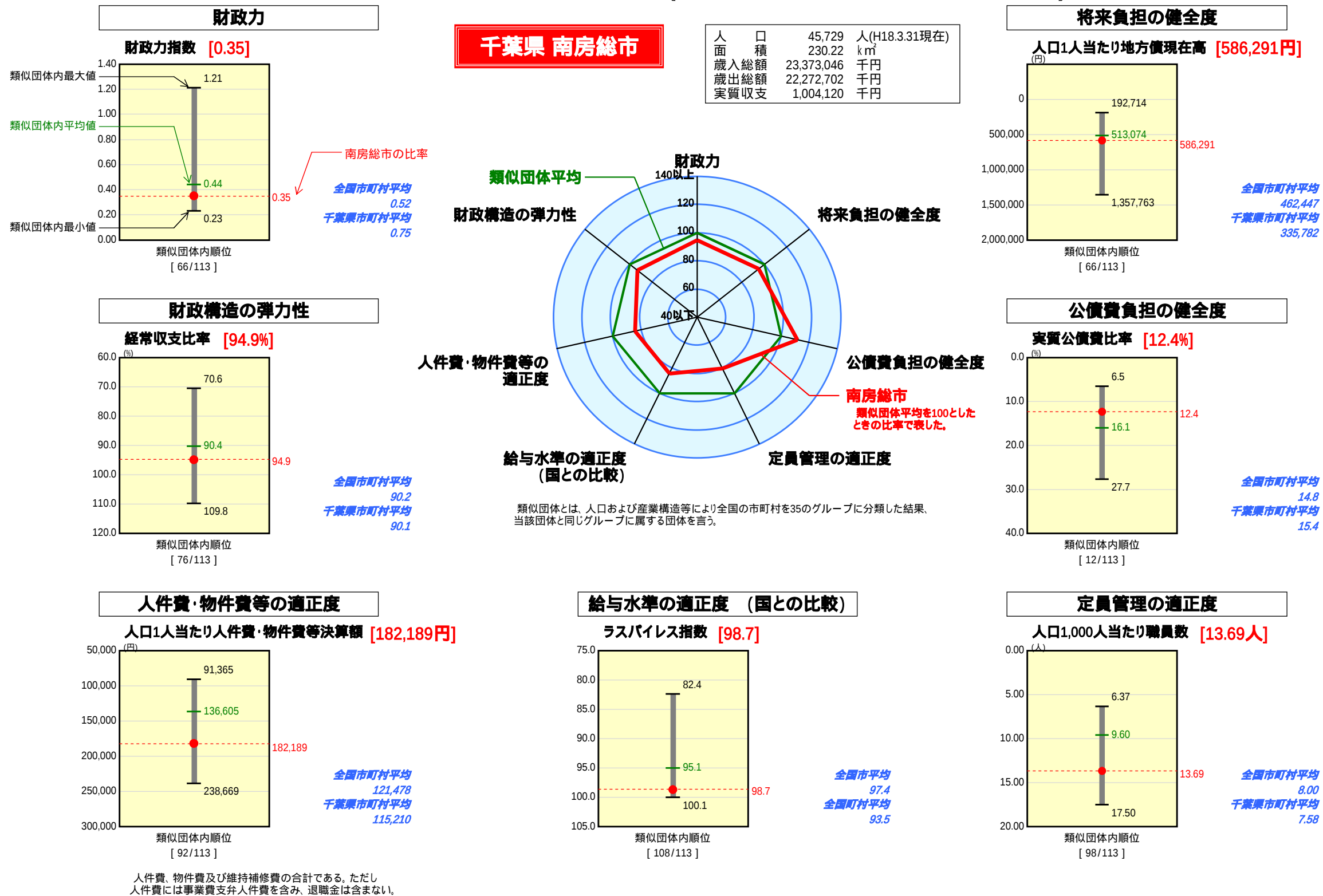
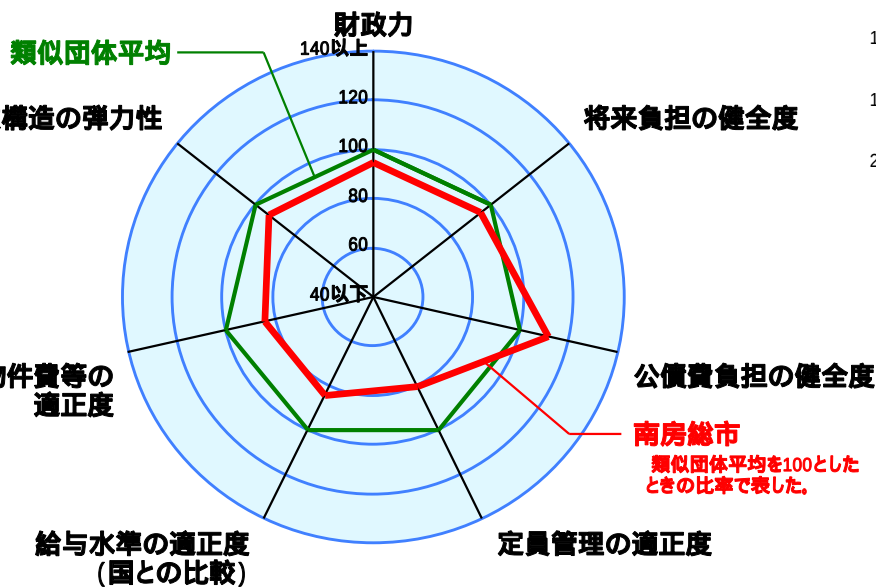


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)



千葉県 南房総市

人口	45,729	人(H18.3.31現在)
面積	230.22	km ²
歳入総額	23,373,046	千円
歳出総額	22,272,702	千円
実質収支	1,004,120	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成17年末32.8%)に加え、市内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。退職者補充の抑制等職員数の削減による人件費の削減、組織の合理化、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税收の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

【経常収支比率】
扶助費等の増加により94.9%と類似団体平均を上回っている。新規採用の抑制による職員数の減(5年間で6.6%減)、事務事業の抜本的な見直し、組織の合理化、民間委託の活用、補助交付金の見直しなど行財政改革を推進し、経常経費の削減を図る。

【実質公債費比率】
緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択と、辺地及び過疎対策事業のように地方財政措置のある有利な起債を利用することにより、類似団体平均を大きく下回っている。今後も投資事業を厳選し、元金償還額以上の新規発行は行わないなど抑制に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
中学校建設事業や保健福祉交流施設建設事業、また、市町村合併による電算統合システム整備事業等により発行額が増加し、類似団体平均を上回っている。後世への負担の軽減と財政構造の弾力性の確保のため、元金償還額以上の新規発行は控えるなど、財政の健全化に努める。

【ラスパイレス指数】
合併前の旧町村の給与体系により算出しているため、類似団体平均を3.6と大きく上回り、全国市平均も1.3上回っている。今後、新市において給与体系等の見直し等を図り、給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体平均を4.09と大きく上回っているが、平成18年3月20日合併により南房総市となり今後、事務事業の抜本的な見直し、組織の合理化等を行い、適切な定員管理に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費と物件費が要因となっている。これは、平成18年3月20日の合併により、平成17年度の南房総市決算が事実上旧7町村の各団体決算額となっているためである。今後は、行財政改革の推進により削減を図る。